



ACEF Community 小田理一郎 評議員

ACEFのミッションとビジョン

「組織運営におけるミッションとビジョンの違いについて、国際機関やNGOでの文脈を踏まえてご紹介します。

開発途上国での教育・福祉や国内の国際協力教育の促進を目的とする組織は多くありますが、ミッションはその組織が担うユニークな貢献を示します。ACEFでは、「アジアの人々とのパートナーシップ・共働から共に生きることの実践を模索する」「未来の共生社会をつくりだす子ども・若者の可能性を開くための教育活動を支援する」「バングラデシュと日本とが学び合い、大人と子ども・若者がともに育つ場をつくる」ことがミッションです。「共に」という言葉が多くあるように、社会や組織間にある相互依存を見据えてどのような付加価値や相乗効果をつくるかを考えることが重要です。

抽象的なミッションに対して、具体的な課題に関する未来の憧憬を表現するのがビジョンです。私たちのまぶたの裏に浮かぶ、未来の憧憬や学校、家庭、地域でのシーンです。ACEFでは「一人ひとりの尊厳が大切にされて、共に生きる喜びを感じられる社会」を創り出そうとしています。

言葉にするとまだ抽象的ですね。ビジョンを具体的にするには、社会で尊厳や生きる喜びがなぜまだ実感できないのか、「今の現実」をしっかりと見据えましょう。そして、どうやって達成するかは脇に置いてただ想像してみましょ。あなたはどんな未来のシーンを実現したいですか？ ACEFを通じてどんな違いを創り出したいですか？ ビジョンを描き、語り、互いに聞きあうことで、組織にエネルギーが生まれます。」

(小田理一郎評議員)

バングラデシュ現地に
インターンとして行きたい！
BDP小学校で
お手伝いしたい！

ACEF
YOUTH



クラウドファンディングのご案内

【若者の活動を応援するクラウドファンディング】

今年ACEFは、主に若者を対象として恒例のバングラデシュでのスタディツアーと、新たな試みとしてBDPでのインターンシップを実施します。ACEF Youthは、若者から国際交流と国際協力の輪を広げることを目指し、スタディツアーとインターンシップのためのクラウドファンディングを始めます。ご支援宜しくお願い申し上げます！WEBページが完成次第告知いたしますので、お見逃しなく！

<実施期間:7/5(水)~8/3(木)>

①ファーストゴール 300,000円

(内訳)

スタディツアー約4%・インターン約5%補助 189,000円 (13,500 x 14名)

クラファンのリターン品・発送 (支援額の2割) 61,000円

いっしょプラン (For Goodの企画運営サポート) 50,000円



Big Issue456号とパナソニックHPの記事のご案内

Big Issue456号、Panasonic HPの企業市民活動のページにACEFが掲載されました！
2020～21年にかけて受けた組織基盤強化の助成について、前事務局長の小田さんと前副理事長の河見さんがインタビューに答えています。

Panasonic URL ↓
<https://holdings.panasonic.jp/corporate/sustainability/citizenship/pnsf/report/acef-or.html>



ACEF ユースイベント

ご報告 Event report

6月3日（土）に開催されたACEFユースイベント「Bangladeshについて学ぼう！～ミニ・ベンガル語講座～」無事終了しました！Bangladeshの食文化や伝統衣装などディスカッションを交えながら皆で学ぶことができました。また、ACEF協力者・福嶋祐子さんによるベンガル語講座では、基本の挨拶から日常会話で使えるフレーズなど教えていただきとても充実した時間となりました。ご参加くださった皆さま、ありがとうございました！



ICUサービ斯拉ーニングイベント

5月30日（火）にICU学内のシーベリーチャペルにて、ICU生対象にBangladesh手工芸品を紹介するイベント・勉強会が開催されました。とても多くの学生が参加してくれ、皆でベンガルティーを飲みながらディスカッションを進める賑やかな時となりました。
また翌週の6月6日（火）には、同じくICU学内の縦察ウイステリアホールにて尊厳カフェが開催されました。ACEFが大切にしている「尊厳」について「尊厳とは何か？」「尊厳を大切にするには？」などグループワークを通して学ぶことができました。企画・進行を担ったICUサービ斯拉ーニング受講生の皆さん、お疲れさまでした！

BDPスピーチコンペティション

6月13日（火）にBDP主催のスピーチコンペティションが開催されました。当日はBDPで学ぶ5年生の5名が、Kazuko Buiyan Welfare Trustから寄贈された本、『障子をあけてみよ 外はひろいぞ 豊田佐吉ものがたり（ベンガル語翻訳）』の読書感想文を発表しました。貧しい村で育った佐吉が様々な困難に挫けず、世界の人々の役に立つ機械を開発するというストーリーと自分自身を重ね合わせ、どの子ども堂々と、素晴らしいスピーチを披露してくれました。豊田通商株式会社と株式会社ユーグレナの2社が、審査員として参加してくださいました。

Youtubeで配信された様子がアーカイブでご視聴いただけますので、見逃した方はぜひACEFホームページからご確認ください。

URL▶ <https://www.youtube.com/live/k9PuxAVg3wM?feature=share>



新スタッフのご紹介：玉貫なをみさん

「2023年5月より事務局で事務を担当しています。混沌とした世の中ではありますが、バングラディッシュの子どもたちが教育を通して大きく羽ばたけますように、日本の若者の皆さんもACEFの活動を通して世界に出ていく人材に育っていかれるようなお手伝いに関わらせていただけたらと考えています。会員やボランティアの皆様と共に、この活動が少しでも周知されていくように努めていきたいと思っておりますのでどうぞよろしくお願い致します。」（玉貫）

BDPニュースレターのご案内（2023年5月号） （翻訳：ACEFユース・石井萌子さん）

さらに広く自分たちの活動を知ってもらいたいという思いから、ACEFの現地パートナー団体BDP(Basic Development Partners)がニュースレターを発行しています。日本語の翻訳も併せて発行されていますので、ぜひぜひお目通しいただき、BDPのスタッフや先生方の日常など、日本の皆さまにもBDPを少しでも身近に感じていただければと思います。

▶BDPニュースレターはこちら <https://acef.or.jp/mail-magazine/>



決済代行会社変更のお知らせと、再登録のお願い

この度、会員管理システムが変更されるのに伴い、ACEFでは支援金の決済代行サービスをこれまでの「Syncable」から「GOEN」に変更することとなりました。GOENが会員システムと連動していることから、このサービス切り替えにより、支援者の皆様にはより一層タイムリーに、もれなく適切なACEF情報をお届けすることが可能になります。つきましては、大変お手数ではございますが、こちらから↓

[\(https://acef.or.jp/news/re-entry-and-cancel/\)](https://acef.or.jp/news/re-entry-and-cancel/)

再登録をお願いいたします。

なお、これまでのSyncableについては、併せて継続寄付停止の手続きをしていただきますよう、お願いいたします。手続き方法がわからない方は、事務局までお知らせください。継続寄付停止の手続きはこちらから：

<https://help.syncable.biz/hc/ja/articles/115003542393>

お手数をおかけしますが、どうぞよろしくお願いいたします。

ACEF
x ICU

group
1

手

工

芸

品

ICUサービスラーニング活動を通して得た気づき

「今回のACEFでの活動にあたって、自ら行動的に何を行うか決めなければなりませんでしたが、そこで、多くの案を出し合い活動に取り組むことができましたが、実際のイベント決定まで多くの時間がかかりとても大変でした。実際のイベントではプレゼンテーションを通し、ACEFとバングラデシュのことについて伝えましたが、参加してくれた方たちがとても真剣に聞いてくれたり、協働について考えてくれてとても嬉しく、楽しい会になりました！このSL活動で改めて、途上国支援について考えるきっかけになるだけではなくどのように自分が他の国と関わっていく必要があるか考えるようになりました。他にも自ら主体的に行動することによって活動の幅が広がるということも学ぶことができました！これからもACEFの活動を続けていき、クラウドファンディングを通し、バングラデシュへの図書館建設を目指していきたいです！」（1年 小名木勇人）

「イベント準備の最中は、きちんと開催当日までに原稿・スライド含め準備を完了させることができるのか非常に不安でした。また、トピックが国際協力というなかなか込み入った内容であったため、自分が知らないうちに持っている偏見のせいで誰かを傷つけてしまうような内容の文章だったり、発言だったりをしてしまわないかどうかとても気を付けました。イベント本番では参加者の数が予想以上に多く、タイムマネジメントが難しかったです。予定していた内容・ディスカッション含め全て時間通り終わらせることができ、完璧とまではいかなくとも自分なりに納得のいく出来だったかなと思います。ACEFの活動、特にオンラインインタビューを通して「普通」の定義が自分と他の人では全然違うこと、ましてやバングラデシュと日本等のように違う国同士ではまるきり違うことに改めて気づかされ、国際協力の難しさを感じました。大学でのこれからの学びでも様々な立場があることを常に意識し、考えることをやめないで積極的にいろんな意見に触れていきたいと思っています。」（1年 伊藤恵梨）



ACEF
x ICU

group
2

尊

厳

カ

フェ

「尊厳カフェを大学で開催することになり、まず尊厳の理解をするところから始まったので、カフェを開催できるほどの知識が得られるか不安だったのですが、ジェフリーさんなどの協力により、無事開催することができて良かったです。広報が十分でなく、参加人数が少なかったのですが、その中でも楽しくディスカッションできて良かったです。このSL活動を通して、イベントの準備や開催の仕方、尊厳についてなどたくさん学ぶことができました。この経験を活かし、尊厳について考え続け行動に反映していきたいです。また、イベントを開催するときに今回の反省点を活かしたいです。」(2年 都志満凧)

「今回、ACEFでのSL活動として尊厳カフェを開催させて頂きました。準備の段階では、私達が来てくださる方に『尊厳』について分かりやすく説明することができるのか、という不安が大きかったです。そのため本を読み込んだり、友人と考えを共有することで、自分の中に『尊厳』を落とし込めるように工夫しました。イベント当日はあいにくの天気もあってか、あまり参加者がいなかったため心配になりましたが、少人数ながら濃いディスカッションができたと思います。1つのイベントを開催するにしても広報や資料作りなど、様々な準備が必要であることを改めて感じ、色々な面で学びが多かったです。今回の活動を通して学んだ『尊厳』を私の人生の問いとして今後も考え続けて、また機会があれば尊厳カフェ第二弾も開催できたらと思います。」(2年 根岸伶)



← シーベリーチャペルで開催された、
 Bangladesh 手
 工品セミナーの様子



← ウィステリアホ
ールで開催された尊
厳カフェの様子



「ユース活動指定寄付」のお願い

ACEFでは今年から、ユース活動支援にもう少し軸足を置いていこうと考えています。ACEFでは、これまでスタディツアーおよび様々な活動を通してバングラデシュの子どもたち、そして日本の若者の繋がりを育んで参りました。よりグローバルな時代になった今、日本とバングラデシュの人々がいかに「共に生きる」ことができるか、体験し学ぶためにこれからも活動を進めて参りますので、皆さまのご理解と暖かい応援・ご支援をお願いいたします（※クラウドファンディングとは別の寄付です）。

現在のユースの活動は…

- クラウドファンディング
- イベント企画と開催
- 手工芸品やバサールのボランティア
- SNS配信や広報活動

詳しくはこちら▶ <https://acef.or.jp/news/supportyouth/>



ACEF Youth エイセフユース

ACEF YOUTHの第5回ミーティングが開催されました



ACEF YOUTHって？→ ACEFでは高校生、大学生、社会人などいろいろなYouthが、教育・開発・貧困解決などそれぞれの関心分野で様々な活動に関わっています。ACEF YOUTHはそのメンバーからできたチームです。

ACEF YOUTHでは、SNS配信や早稲田のACEF事務所でハンディクラフトのボランティア活動に携わるなど、一人ひとりのパッションと才能が生かされています。興味がある方は、ぜひお気軽にACEF事務局にご連絡ください。メールアドレス：
public@acef.or.jp

find us on social media!



ココからフォロー→ <https://linktr.ee/acef.ngo>



(特活) アジアキリスト教教育基金 (ACEF)

〒169-0051 東京都新宿区西早稲田2-3-18 日本キリスト教会館26号室

tel 03-3208-1925 fax 03-6278-9180

担当：出立 メールニュースについてのご意見や配信停止はpublic@acef.or.jpまで